

グローバル化時代における教育 ーイマージョン教育の今後についてー

北海道教育大学 横山吉樹

グローバル化に伴い教育にもとめられること

- ▶ グローバル化
 - ▶ IT技術の進歩
 - ▶ 交通・物流の発達
 - ▶ 市場の開放
- ▶ グローバル化に伴う社会の変容
 - ▶ 情報・人・物資の流通の活性化
 - ▶ ボーダレス化と、それに伴う国々の相互依存の加速化
- ▶ グローバル化に伴い教育に求められること
- ▶ 多言語社会への対応: イマージョン教育
- ▶ 教育の標準化 (transnational higher education)への対応: SDG(Sustainable Development Goals)とGCED (Global Citizenship Education), IB制度, 21世紀型能力, Aレベル

カナダと香港のイマージョン

▶ イマージョン教育の類似性 (Swain & Johnson, 1997)

- ▶ 1. 第二言語がMOI(medium of instruction)である。
- ▶ 2. カリキュラムが、地域の公立学校などと同等である。
- ▶ 3. 第一言語によるカリキュラム上支援がある（少なくとも母語授業）。
- ▶ 4. 付加的バイリンガリズムを目指している。
- ▶ 5. 第二言語を使用する場合は、主として授業に限られている。
- ▶ 6. 入学する児童・学生は、同様（且つ、限定的な）習熟度を有している。
- ▶ 7. 教員はバイリンガルである。
- ▶ 8. 学校は、その地域の文化を共有している。

▶ 相違点

- ▶ 上記5について、ケベック州の場合、フランス語が多数派言語のため、地域でもよく使用。
- ▶ 上記7について、香港の場合は、バイリンガルの比率は高くない。

カナダと香港のイマージョン

▶ イマージョン教育の特異性 (Swain & Johnson, 1997)

- ▶ 1. 開始時期：早期、または、後期
カナダでは、早期も多いが、香港の場合は、公立学校は後期イマージョン
- ▶ 2. イマージョンの程度：パーシャルかトータルか
カナダでは、トータルも多いが、様々な形態を学校単位で試行。香港の場合は、バンドによって、ほぼトータルであるか、パーシャルであるかが異なる。
- ▶ 3. 第一言語と第二言語の比率の推移
カナダでは、初期段階には、第二言語の比率を高くし、その後、第一言語を導入することもある。香港では、バンド1校でも、中学校レベルでは、リーディングのみ第二言語で行い、高等学校レベルになって全て第二言語で行うということも多い。
- ▶ 4. 継続性
カナダでは、小中高等学校で、フランス語イマージョンが行われている。香港の場合は、バンド1の中等学校のみで、高等教育におけるイマージョンも一部の大学のみ。
- ▶ 5. 支援の橋渡し
香港：Mix,自主教材（注を挿入など）

イマージョンとIB一条校

▶ イマージョン教育の特異性 (Swain & Johnson, 1997)

▶ 5. 支援の橋渡し

カナダ：ジェスチャー、視覚教材、実物教材を利用する、授業の流れなどをルーティン化し、次に何をするのかなどを予測させる。背景知識を利用する。故意に、同じ内容を繰り返す。協働学習することによって、自分の言語形式などに注意を向けさせる(Swain, 2001)。ディクテーションすることによって、音と文字の違いに気付かせる。(Guidelines for a successful immersion program, 2204, CAIT)。州のガイドライン(学年によって、語彙や文法事項を定めている)に従って、教師自ら作成する教材を用いる。

- ▶ IB一条校：IB一条校のカリキュラムは、学習指導要領に抛らなければならないため、地域の公立学校等と同等なものにならざるをえない。しかしながら、そのことは、IB校にとっては、国際バカロレアとしてのカリキュラムとの整合性を担保する必要性が生じることになる。赤羽(日本教育大学協会・研究集会, 2018)「IB教育におけるユニットプランナー」として、ミドルイヤープログラムのカリキュラムが掲げる「グローバルな文脈」を横軸とし、「重要概念」を縦軸とした表の中に、日本の学習指導要領に準拠する教科書の単元内容をマッピングすることで、二つのカリキュラムがどのようにマッピングされ(担保され)ているのかを可視化しようと試みた。しかしながら、ディプロマプログラムに関しては、渋谷は、IBプログラムのカリキュラムの三つの要件である「創造・活動・奉仕」に関して、日本のカリキュラムに位置づける困難さを指摘している(教育実践開発研究センター研究紀要23, 2014)。

イマージョンとIBの抱える問題

▶ グローバル化は、地域のスタンダードとの整合化を求められる

- ▶ イマージョンの場合：イマージョンのカリキュラムと州や国が定めるガイドライン(指導要領)との整合性
- ▶ IB一条校の場合：IBの理念やカリキュラムと学習指導要領との整合性

* 教科内容と言語の統合を、科目内でも科目間でも協働しなければならないということも重要である。